

ちゅら風通信(春号)



タイ王国での海外現地研修 (国際看護学Ⅱ)



ケアリング文化実習での集合写真 (1Aゼミ)



バレーボール大会でリフレッシュ



一般社団法人学生サポートセンターが主催する令和4年度「学生ボランティア団体助成事業」において、VAGでの活動体験レポートが優秀レポートに選ばれました。2月6日に東京で開催された表彰式にも参加し、VAGの活動紹介の機会をいただきPRしてきました。他大学のボランティア活動の様子も知り、刺激を受けました。今回の経験を後輩にも伝え、後輩と共にVAGの活動を今後も発展させていきたいと思ひます。

学生ボランティア団体助成事業表彰式

(3年次:石川淳貴)



沖縄県防災訓練見学 (災害看護論)

index

- ・国際看護学Ⅱ タイ研修 2
- ・1年次生講義・活動風景 3
- ・2年次生講義・活動風景 4
- ・3年次生臨地実習 5
- ・4年次生卒研発表会・国試対策 6
- ・COI事業・やんばる健診 7
- ・沖縄看護卒研発表会・おすすめベーカリー 8

基礎看護実習室に
ピアノが
来ました♪



国際看護学Ⅱ タイ王国での海外現地研修

期間・参加者: 2022年9月5日～9月14日に学生8名、教員2名

研修目的: 開発途上国・地域の人々やNGOスタッフ、看護職者、看護学生等との交流を通して、社会や個人の多様性や異文化を理解するとともに、それをふまえた国際看護・保健に関する協力活動の実際を学び考察する。

研修場所および主な内容: ウボンラーチャターニー県、バンコク

- ・地域(県・郡・村)の病院見学と保健ボランティアとの家庭訪問
- ・村でのホームステイ(3日間) ・村の小学校でアイスブレーキング、性教育
- ・日タイ文化交流会 ・LGBTs支援団体レインボースカイ協会訪問
- ・サンパシット看護大学の学生と交流

村での ホームステイ 生活

宗教



毎朝6:30頃にお坊さんが、家の前にもち米を均等にわけ、お供えする。お供えしたものは、お坊さんのご飯になったり、ご先祖様のご飯になる。

洗濯、食器洗い



洗濯は、基本手洗い。食器洗いも毎回食後、桶で、手洗いをする。



トイレ、水浴び



トイレトペーパーがない！基本的には、シャワーではなく、水で体を洗う水浴びが一般的。

学び

言語

異なる言語でのコミュニケーション方法

ジェスチャーだけじゃない！
食事を一緒に！
自分たちの文化も紹介する！



表情
相手の文化を尊重し
同じ生活をする！

○訪れる前

タイ語はぼゼロ➡簡単なタイ語を少しずつ理解

健康状況

村の年配の方年齢の割に、見た目が老いている方が多い。



過度な日晒け

水浴び・洗濯・食器洗い

↓
普段の生活

腰痛

コミュニティに積極的に参加！明るく！元気！



地域の保健センターの取り組み

コロナウイルス感染症に対する取り組み

保健ボランティアの方々が地域住民にLINEを通して薬を自宅まで届けるシステムを構築。通常休みとなる土日でも対応可！

家庭訪問

定期的に保健ボランティアの方々が患者の自宅に家庭訪問。

患者の病状の経過観察、服薬の確認、リハビリなど医療的な視点で患者をみたり、会話を楽しんだりしていた。



保健ボランティアの方も家族のような存在で、深い信頼関係が図に見えた。

地域の歴史建造物を見学

ワット・ナム・トック・タム
ボーン・チャルーン・タム



【担当教員より】

令和4年度は、国・地域によって渡航が可能な状況になっていたことから、大学内の担当部署の理解と協力を得て、現地研修を実施することができました。学生達は感染予防に留意しながら、健康支援NGO活動への参加、農村部でのホームステイや文化交流、看護大学生との交流などを行い、現地研修だからこその体験によって多くの学びを得られたと述べていました。タイの人々の優しさが学生の感受性を刺激し豊かにしてくれることに、感謝の日々でした。

(総合看護領域:横川裕美子・金子有希)

1年次

1年次生講義・活動風景

【編集者】

島袋 真緒、小板橋 咲

ケアリング文化実習Ⅱ

ケアリング文化実習Ⅱでは、自身の健康に関するセルフケアを踏まえて実習地区の健康に関連する施設や催しを調べ、実習対象地域で行なわれている行事や催しに積極的に参加し、人々の生活の実際を学びます。前期の「ケアリング文実習Ⅰ」での地域を知る体験に続き、地域で暮らす人々の「生活を知る」ことをねらいとしています。

1Bゼミの活動紹介

私たちは、担当地区の古宇利島の住民を対象に、“ゆんたくサロン”というイベントを開催しました。

血圧や体温測定をしたり、住民の方々と花を植えたり、新聞紙を使った風船バレーや料理の具材を絵で書いて料理をあてるゲームなどちょっとしたレクを行いました。



血圧・体温測定



芋掘りじゃないよ、花植えだよ



●風船バレー

教養演習Ⅱ

教養演習Ⅱでは、アカデミックスキル科目群で修得した力をもとに、幅広い視野で一つのテーマを掘り下げる学習方法を身につけます。ゼミで1冊の本を詳読し、各章の要約・考察し、ディスカッションを行い、論理力、批判力、統合力を身につけるとともに、全体での成果発表を通してプレゼンテーション力を修得しました。

1Aゼミのまなびを紹介

『ぼくはイエローでホワイトでちょっとブルー』を読み深めました。各章のディスカッションを通し、差別の背景にある共通要因として「固定概念・偏見の背景にある無知」を見出しました。その解決策としてエンパシーを身につけるための教育が大切です。年齢に合った教育を十分に実施できれば同和問題・LGBTQ・人種を「個性」としてとらえることができ、多様性溢れる社会に繋がると考えました。



ディスカッション風景

ディスカッションのまとめの様子



討議の全体像

2年次

2年次生講義・活動風景

【編集者】

久高 衣織、福元 愛利、山城 ひまり

2年次の後学期は大忙し！ 毎日1限目から5限目まで授業・演習やグループワークが隙間なく詰まっています。ほんと、めちゃめちゃ忙しかったです。

2月1週目の課題・期末試験を終え、ホッとしたのもつかの間、2月8日からは基礎看護実習Ⅱ、公衆衛生看護実習Ⅰが始まりました。看護学生らしくなってきたなと感じます。午前中は病院や施設に出向き、午後は学内に戻りカンファレンスや記録のまとめに励んでいます。



病院実習から戻り、学内でカンファレンス&記録まとめ(基礎看護実習Ⅱ)



糖分補給も大事!



兄貴(伊波先生)からの熱血指導



4年次の国家試験に向けた激励会で、基礎看護実習を担当する先生方と一緒に応援動画を作成したよ!



心肺蘇生法・気管挿管の演習風景(成人看護学方法論Ⅰ)



3年次

3年次生講義・活動風景

【編集者】

南風原 宏香、村上 姫奈



精神看護実習

慢性期病棟ではレクリエーションを開催しました。学内日の実習では、レクリエーションで使用する物品の作成を行い、実習に挑みました。レクリエーション本番は、普段は他患者との交流が少ない患者さんも参加してくださり、他患者交流を図ることができたレクリエーションになりました。

高齢者看護実習

学内実習では、摂食・嚥下障害看護認定看護師さんの講話を受け、た上で演習を行いました。口から食事を摂る事の重要性や摂食嚥下が複雑な動作である事を学ぶことが出来ました。また演習を行い、食事の際には適切な姿勢に整えることの重要性や認知機能が低下している方への食事介助では対象者が食事を認識出来るような工夫が必要であることを学びました。



交流研修等補助事業

3年次生は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、様々な学びの中での制約を受けてきました。入学時、初年次教育において後援会からの支援を受けることが出来なかったため、その予算を活用した交流研修等補助事業（ゼミ交流会補助金）が実施されました。看護学科3年次は、テイクアウト食事の配布を行いました。看護学科とスポーツ健康学科の間のスペースで、ピクニックのようなランチタイムを過ごしました。



調整を頑張った学年長
(吉元奨悟さん)



4年次

4年次生講義・活動風景

【編集者】

南風原宏香、村上姫奈

卒業研究発表会

11月11日に卒業研究発表会が行われました。春頃から研究に取り組み、アンケート調査やインタビュー、文献検討など初めての事に難しさを感じながらも、担当教員の指導を受け、無事に発表会を迎えることが出来ました。発表会では、質疑応答の時間や、他の学生の発表を通して自分自身の研究の課題を見つけ、もう一度自分の研究を見つめ直すきっかけになりました！

4年次 米盛夢姫・堂本菜月



私は母性看護領域、小児看護領域、成人看護領域の卒業研究を聴講しました。テーマの焦点の当て方や調査方法など具体的な研究の進め方を学ぶ良い機会になりました！また、先輩方が研究に真摯に向き合っている姿を見ることで、来年度に向けての意識づくりが出来ました！4年次の先輩方、そして指導教員の先生方長い間お疲れ様でした！

3年次 南風原 宏香



国試対策



4年生では成人看護実習や卒業研究と並行して、看護師国家試験に向けて動いていきます。現在私たちは、理化学室や図書館など、各自集中しやすい場所を選び勉強しています。次のことを意識して国試対策を行っています。

1. 必修問題の知識は一般・状況設定問題にも応用できるため、必修問題の知識から固める。
2. 模試を解いたままにせず、見直しをしっかり行う。
3. 過去問を中心に勉強を進める。
4. 早い時期から勉強に取り組む。

4年次 米盛夢姫・堂本菜月

主に使用している参考書
・レビューブック
・クエスチョンバンク
・プチナース必修問題
完全予想 など

COI事業・やんばる健診での学生ボランティア

文部科学省センターオブイノベーション (COI) 事業ってなに？

看護学科設置とともに始まった「朝市」健康支援活動などの地域の健康づくりが中路重之弘前大学学長補佐の目に留まり、2018年に名桜大学はCOI連携拠点大学に採択されました。COIとは、「10年後のあるべき社会の姿、暮らしのあり方をイノベーションにより産学連携で実現する」とした文部科学省のビジョンです。採択を受け、教員および学生の協力の下、生活習慣、ヘルスリテラシー、骨密度、腹部エコー、脈波、ゲノムデータ、腸内細菌叢、血液・尿検査、内臓脂肪、体力などおよそ165項目を測定する「やんばるプロジェクト健診」を毎年実施しています。こうして収集された健康ビッグデータを解析し、住民の疾患発症予防や健康増進に寄与したいと励んでいます。この事業はこれから10年間続く大型プロジェクトであり、長寿県復活の要となることでしょう。

(名桜大学長 砂川昌範)



血圧測定ブース



尿・便回収ブース



採血ブース受付



採血ブース受付



頭部インピーダンスブース



最終チェック

本年度のやんばる版プロジェクト健診は、11月24日(木)～26日(土)、28日(月)の4日間の日程で、名桜大学北部生涯学習センターを会場として実施され、236名の方にご参加いただきました。運営スタッフ345名中、学生が253名と多くを占めています。学生スタッフの働きは健診運営にとっても重要で、特にボランティア参加の学生スタッフの活躍には目を見張るものがあり、心強く大いに勇気づけられました。来年度以降も、やんばる版プロジェクト健診が、ご参加いただく皆様自身の健康への気づきの機会となり、健康の維持・増進にお役立ていただけるよう努力して参ります。

(COI担当学長補佐 花城 和彦 教授)



沖縄県北部地区住民における
「健康調査」及びこれに基づく
「疾患予兆法」と「予防法」の開発

第7回沖縄看護卒業研究発表会

令和5年2月14日(火)に、名桜大学で第7回沖縄看護卒業研究発表会が行われ、名桜大学・琉球大学の4年次6名が、取り組んだ卒業研究を発表しました。名桜大学からは、崎濱 秀嵩さん、當銘 翔太郎さん、大沢 詩音さんの3名が発表しました。崎濱 秀嵩さんと西原椿さん(琉大)の2人が最優秀賞、4人が優秀賞として生命医学研究振興財団から顕彰されました。



崎濱 秀嵩さん



當銘 翔太郎さん



大沢 詩音さん



砂川学長からの講評

おすすめベーカリー: PANCHORI-NA(パンチョリーナ)



PANCHORI-NAは、沖縄県のパン(ベーカリー)の名店ランキング第1位に選ばれました。デニッシュ系🥐、お総菜パン🍞、どれもこれも最高に美味しいです。県立北部病院のすぐ近く(車で3分)なので、実習帰りに寄って、心も身体も癒やされますよ。おすすめは、ソフトフランス🍞にシュガーバターたっぷりの「ホルン」です😊 取材:清水

編集後記

ちゅう風通信を読んでもいただきありがとうございます。名桜大学看護学科の日常や活動を紹介しました。コロナ禍も落ち着いてきたことで、生活や活動も濃くなり、身に染みて学習できる環境に感謝しています。沢山の方々に協力していただき、仲間と共に支え合いながら、楽しい学生生活を過ごしています。そして、自然と触れ合い、美味しいものを食べたりと充実しています!!今後とも名桜大学看護学科の様子をお届けできたらと思いますのでよろしくお願い致します♪

(看護学科2年次学生編集員一同)



みんなで試食会
美味しい〜😊